

「学校施設の長寿命化計画（学校保全・更新計画）改定支援業務委託」
に関するプロポーザルに係る提案書評価基準

(1)評価方法

評価委員1人あたり100点満点とし、下記評価項目について評価を行い、合計得点の高いものを特定する。

(2)評価点が同点の場合の措置

評価委員の採点の合計点数が同点の場合、次の順で上位の提案をプロポーザルの上位者とする。

ア 「提案内容(検証手法)」の合計点数が上位の者

イ すべての項目において「E」の評価点が無い者

	評価項目	評価の着眼点	配点
本業務における様々なニーズに対応できる実施体制と実施方針	実績と専門性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設や公共施設の長寿命化計画に関する実績があるか ・データ分析、ライフサイクルコスト算定、施設マネジメントに関する専門性が確認できるか ・実績の難易度が本業務に類似しているか 	15
	本業務の実施体制と実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野（建築、設備、財務、データ分析）を網羅した体制になっているか ・業務遂行の役割分担が明確で、責任体制が整理されているか ・教育委員会や学校現場との調整方針が具体的に示されているか ・スケジュール管理やリスク対応策が明確か 	10
提案内容(検証手法)	老朽化コストの検証手法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト算定の前提条件（モデル検討対象外の修繕費・維持管理費等）が合理的か ・将来予測の精度を高める工夫（物価変動、エネルギーコスト等）があるか 	15
	老朽化対策のコストを手法ごとに比較検証するためのデータの作成手法	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え・長寿命化改修の各手法を比較するためのデータ構造が明確か ・データの出所や信頼性が担保されているか ・本委託業務の履行後も、委託者による条件変更や複数条件比較ができる仕組みになっているか 	15
	学校施設のライフサイクルコストの算定に必要な要素の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・工事費、維持管理費、修繕費費などの要素を網羅しているか ・教育環境や利用度の変化を考慮しているか ・長期的な財政負担の見える化ができるか 	15
	他自治体事例、先行事例に関する知見	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体の長寿命化計画や改定事例を把握しているか ・事例の分析結果を本業務に活かす提案があるか ・最新の国の動向やガイドラインを踏まえているか 	15
	計画改定に繋がる提案であるか	<ul style="list-style-type: none"> ・単なる分析に留まらず、改定計画に反映できる具体的な提案になっているか ・財政健全化や教育環境改善に資する視点があるか ・実効性のある優先順位付けやロードマップが示されているか ・少子化の進行を見据え、施設配置や施設規模の適正化に配慮した提案となっているか 	15
合計			100